



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年7月29日

上場会社名 株式会社 カネミツ 上場取引所 大
 コード番号 7208 URL <http://www.kanemitsu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金光 俊明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部本部長 (氏名) 金光 秀治 (TEL) 078 (911) 6645
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月9日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	1,495	60.3	90	-	87	-	36	-
22年3月期第1四半期	933	△43.3	△46	-	△43	-	△18	-

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	7	20	-	-
22年3月期第1四半期	△3	58	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
23年3月期第1四半期	8,333		5,220		61.5	1,002	94	
22年3月期	8,208		5,209		62.4	1,002	12	

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 5,128百万円 22年3月期 5,124百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	-		4	00	-		6	00	10	00
23年3月期	-									
23年3月期(予想)			6	00	-		6	00	12	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無: 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	3,000	37.4	220	-	200	-	100	-	19	60
通期	6,060	16.2	470	106.3	440	105.2	300	126.0	58	70

(注) 当四半期における業績予想の修正有無: 無

4. その他（詳細は、〔添付資料〕P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	5,119,477株	22年3月期	5,119,477株
23年3月期1Q	5,812株	22年3月期	5,720株
23年3月期1Q	5,113,726株	22年3月期1Q	5,113,757株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表等	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、在庫調整の進展や海外経済の回復を背景とした輸出、生産の増加などから回復基調が続いています。

自動車業界におきましても、エコカー減税や新車購入補助金等の政策効果により、国内販売台数は前年同期比二桁の伸びが続き、輸出も米国向けを始めとして回復基調にあります。その一方で、国内販売につきましては新車購入補助金制度が9月をもって終了予定のため、売れ行きへの影響が懸念されています。

このような状況のもと、当社グループの売上高は1,495百万円（対前年同期562百万円の60.3%増加）となりました。

利益面では、受注の回復、コスト削減効果等から、営業利益90百万円（前年同期は46百万円の赤字）、経常利益87百万円（前年同期は43百万円の赤字）、四半期純利益36百万円（前年同期は18百万円の赤字）となりました。

セグメント別では、日本は売上高1,231百万円（対前年同期415百万円の50.9%増加）、営業利益は29百万円（前年同期は29百万円の赤字）となりました。

タイ現地法人は売上高228百万円（対前年同期111百万円の95.8%増加）、営業利益は58百万円（対前年同期49百万円の55.6%増加）となり、中国現地法人は売上高68百万円（対前年同期52百万円の337.3%増加）、営業利益は2百万円（前年同期は24百万円の赤字）となり、売上高、利益ともに前年同期を大きく上回りました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は8,333百万円となり、前連結会計年度末に比べ125百万円の増加となりました。流動資産は202百万円増加しましたが、主として現金及び預金の増加189百万円によるものであります。固定資産は76百万円減少しましたが、主として投資有価証券の減少56百万円によるものであります。

負債は3,112百万円となり、114百万円増加しました。流動負債は156百万円増加しましたが、主として短期借入金増加48百万円、未払法人税等の増加34百万円等によるものであります。固定負債は42百万円減少しましたが、主として長期借入金の減少51百万円によるものであります。

純資産は5,220百万円となり、11百万円増加しましたが、主として為替換算調整勘定の増加32百万円、その他有価証券評価差額金の減少34百万円、利益剰余金の増加6百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は61.5%と前連結会計年度末に比べ0.9%減少しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は1,499百万円と、前連結会計年度末と比べ189百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は296百万円（対前年同期増減率241.2%）となりました。これは主に売上債権の減少額が50百万円（対前年同期増減率△35.4%）、減価償却費が97百万円（対前年同期増減率14.1%）、賞与引当金の減少額が53百万円（対前年同期増減率△14.9%）、税金等調整前四半期純利益が62百万円（対前期86百万円の増加）となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は38百万円（対前年同期増減率△33.0%）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が34百万円（対前年同期増減率△38.5%）となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は82百万円（前年同期は51百万円の収入）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が71百万円（対前年同期増減率29.3%）、リース債務の返済による支出が18百万円（対前年同期増減率13.5%）となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年5月14日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想の数値から変更はございません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより税金等調整前四半期純利益が24百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,499,017	1,309,603
受取手形及び売掛金	1,551,638	1,597,584
商品及び製品	23,539	33,314
仕掛品	329,978	325,081
原材料及び貯蔵品	75,542	62,750
繰延税金資産	79,955	48,997
その他	41,851	22,060
流動資産合計	3,601,523	3,399,392
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,809,722	1,797,843
減価償却累計額	△961,868	△944,142
建物及び構築物（純額）	847,854	853,701
機械装置及び運搬具	4,976,010	4,980,014
減価償却累計額	△3,832,936	△3,779,334
機械装置及び運搬具（純額）	1,143,073	1,200,679
工具、器具及び備品	514,214	494,523
減価償却累計額	△420,901	△407,258
工具、器具及び備品（純額）	93,312	87,265
土地	2,018,193	2,015,172
建設仮勘定	99,089	77,494
有形固定資産合計	4,201,523	4,234,313
無形固定資産	89,245	89,343
投資その他の資産		
投資有価証券	291,117	347,256
繰延税金資産	23,389	13,284
その他	127,136	124,702
投資その他の資産合計	441,644	485,242
固定資産合計	4,732,413	4,808,899
資産合計	8,333,937	8,208,291

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	760,812	752,774
短期借入金	317,346	269,238
1年内償還予定の社債	140,000	140,000
1年内返済予定の長期借入金	276,944	296,637
未払法人税等	41,000	7,000
役員賞与引当金	6,000	—
賞与引当金	54,564	108,000
その他	491,278	357,436
流動負債合計	2,087,945	1,931,086
固定負債		
社債	190,000	200,000
長期借入金	323,313	375,214
長期未払金	193,834	193,834
退職給付引当金	242,036	239,279
その他	75,849	59,492
固定負債合計	1,025,034	1,067,820
負債合計	3,112,980	2,998,906
純資産の部		
株主資本		
資本金	551,099	551,099
資本剰余金	445,219	445,219
利益剰余金	4,147,181	4,141,026
自己株式	△6,459	△6,423
株主資本合計	5,137,042	5,130,922
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	40,016	74,964
為替換算調整勘定	△48,321	△81,239
評価・換算差額等合計	△8,304	△6,275
少数株主持分	92,219	84,738
純資産合計	5,220,956	5,209,385
負債純資産合計	8,333,937	8,208,291

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	933,158	1,495,845
売上原価	768,975	1,149,155
売上総利益	164,182	346,689
販売費及び一般管理費	210,864	255,759
営業利益又は営業損失(△)	△46,681	90,930
営業外収益		
受取利息	387	233
受取配当金	1,783	1,843
為替差益	57	—
助成金収入	9,407	—
受取補償金	—	6,203
その他	1,371	2,215
営業外収益合計	13,007	10,496
営業外費用		
支払利息	9,977	9,680
為替差損	—	3,843
営業外費用合計	9,977	13,523
経常利益又は経常損失(△)	△43,651	87,903
特別利益		
保険解約返戻金	19,965	—
特別利益合計	19,965	—
特別損失		
固定資産除却損	218	882
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	24,654
特別損失合計	218	25,536
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△23,903	62,367
法人税、住民税及び事業税	112	36,774
法人税等調整額	△6,495	△17,176
法人税等合計	△6,382	19,598
少数株主損益調整前四半期純利益	—	42,769
少数株主利益	836	5,931
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△18,357	36,837

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△23,903	62,367
減価償却費	85,048	97,068
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	24,654
賞与引当金の増減額(△は減少)	△62,790	△53,436
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	6,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,909	2,757
受取利息及び受取配当金	△2,171	△2,077
支払利息	9,977	9,680
為替差損益(△は益)	△51	134
固定資産除却損	218	882
保険解約損益(△は益)	△19,965	—
売上債権の増減額(△は増加)	78,088	50,457
たな卸資産の増減額(△は増加)	10,302	△4,864
仕入債務の増減額(△は減少)	△65,723	3,359
その他	89,322	110,616
小計	94,441	307,598
利息及び配当金の受取額	2,211	2,084
利息の支払額	△8,784	△9,708
法人税等の支払額	△1,070	△3,816
営業活動によるキャッシュ・フロー	86,797	296,157
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△55,821	△34,336
無形固定資産の取得による支出	—	△1,134
投資有価証券の取得による支出	△2,864	△2,827
その他	1,170	△244
投資活動によるキャッシュ・フロー	△57,516	△38,541
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	34,325	45,550
長期借入金の返済による支出	△55,571	△71,869
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
セール・アンド・リースバックによる収入	117,137	—
リース債務の返済による支出	△16,656	△18,897
自己株式の取得による支出	—	△35
配当金の支払額	△15,397	△25,192
少数株主への配当金の支払額	△2,493	△2,059
財務活動によるキャッシュ・フロー	51,344	△82,503
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,103	14,301
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	93,729	189,414
現金及び現金同等物の期首残高	1,154,461	1,309,603
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,248,191	1,499,017

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

当社及び連結子会社の事業はプーリ等の製造・販売を事業内容とする単一事業区分であるため、事業の種類別セグメント情報は作成しておりません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	800,901	132,257	933,158	—	933,158
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	15,132	—	15,132	△15,132	—
計	816,034	132,257	948,291	△15,132	933,158
営業損失	△29,629	△15,473	△45,103	△1,577	△46,681

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア・・・タイ、中国

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	アジア	計
I 海外売上高（千円）	132,257	132,257
II 連結売上高（千円）	—	933,158
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	14.2	14.2

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア・・・タイ、中国

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は主に自動車部品等を生産・販売しており、国内においては当社が、海外においてはタイ、中国の各地域を現地法人KANEMITSU PULLEY CO., LTD. 及び佛山金光汽車零部件有限公司がそれぞれ担当しております。

現地法人は各々独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域毎に総合的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って当社は、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「タイ」、「中国」の3つの報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、プーリを中心に自動車部品等を生産・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	タイ	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,200,548	227,269	68,027	1,495,845	—	1,495,845
セグメント間の内部売上高又は振替高	30,714	1,234	—	31,948	△31,948	—
計	1,231,262	228,503	68,027	1,527,794	△31,948	1,495,845
セグメント利益 (営業利益)	29,382	58,869	2,848	91,100	△170	90,930

(注) 1. セグメント利益の調整額△170千円には、セグメント間取引消去△9,937千円、各報告セグメントに分配していない全社費用9,887千円、棚卸資産の調整額264千円及び固定資産の調整額△43千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。